

おかげさまで20年

技術研究所のご紹介

所長 田中 秀俊

当研究所は、1987年に当社が農業・畜産の分野で長年蓄積した技術と経験を生かして、新たに微生物を利用した技術、商品を開発することを目的として北海道江別市に設立され、来年で20周年を迎えます。

当研究所の主な研究テーマとしては、①サイレージ用乳酸菌及び繊維分解酵素の研究、②サイレージ用二次発酵抑制資材の研究、③植物生理活性物質の研究を中心に進めています。

技術研究所の開発商品

上記の研究テーマに基づいて、当研究所では、これまでに次のような商品を開発して参りました。設立時よりご愛顧いただいておりますサイレージ調製剤「スノーラクト」、植物活力剤「スノーグローエース」を始め、セルラーゼ（繊維分解酵素）と乳酸菌を組み合わせたサイレージ調製剤「アクレモ」及び「アクレモコンク」。サイレージの二次発酵抑制資材「サイロ見張り番MO」。マメ科作物の収量アップに貢献する植物活力剤「ジャックスパワー」。光合成細菌からなる有機性排水処理剤「バイオメイト」などがあります。

最近の話題

今までに蓄積した乳酸菌の培養・製剤化などの技術を「産・学・官」の連携研究に活用する事によって、新しい研究成果にも繋がっています。

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産草地研究所及び埼玉県農林総合研究センター 畜産研究所と共同で、稲発酵粗飼料用乳酸菌「畜草1号」を開発しました。「畜草1号」は、水田転換作物として注目されている飼料イネサイレージに添加することで、発酵品質改善に効果があります。

おわりに

当研究所は、今後とも農業に役立つ商品開発に取り組んでまいりますので、お引き立て、ご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

20年間で愛顧いただいた感謝を込めて、来年の「牧草と園芸」1月号より、現場の問題解決に役立つサイレージ技術を中心にシリーズで掲載させていただく予定です。ご期待ください。



乳酸菌を培養するための培養タンク



主な開発商品



技術研究所の全景